

# 頌 栄

No. 107

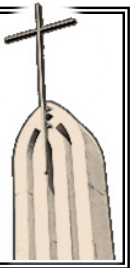
日本キリスト教団 頌栄教会

〒155-0031

世田谷区北沢 1-42-10

Tel 03-3467-3664

Fax 03-3467-8332



## 「地の塩・世の光」

牧師 清弘 剛生

世界中の教会が主日に集まることの困難に直面して久しくなりました。しかし、主日に集まることが困難なこの時はまた、週日に私たちがどう生きていくかを省みることもできる大切な期間であるとも言えるのでしよう。

主は「あなたがたは地の塩である」(マタイ5・13)、また「あなたがたは世の光である」(同14節)と言われました。「あなたがたは地の塩になりなさい。あなたがたは世の光になりなさい」と言っておられるではありません。これは宣言です。イエス様が御自身の権威をもって宣言されるのです。「あなたがたは

地の塩である。あなたがたは世の光である」と。

意味なく目的もなく鍋に塩を入れる人はいません。意味なく目的もなく明かりを灯す人はいません。塩を入れるとしたら、例えば味を付けるためです。明かりを灯すのは、例えば部屋を明るくするためです。すなわちそこに、ある変化を生じさせるためです。そのように、神はこの世界に变化をもたらすために、ここにいる私たちが「地の塩」として投入し、「世の光」として灯されたのです。

ところで、変化をもたらすためには力が必要であると人

は考えます。しかし、この言葉は、当時の権力者たちに語られたのではなく、社会において権力や影響力とはまったく無縁であった、あの弟子たちに語られた言葉だということ。目を向けておられるのは人間ではなく、「信仰」なのです。

教会には様々な人が集まっています。共通であるもの一つを除いて何も無いと言って良い。その一つとは「信仰」です。キリストは、ただ私たちの「信仰」に目を向けて、こう言っておられるのです。「あなたがたは地の塩である。あなたがたは世の光である」と。

さて、そのように語りかけられている私たちの日々の信仰生活は、今、どのようなものとなっているのでしょうか。